



発行・編集／改革・新風  
 長野県庁県議会棟内(026)232-0087  
 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
 http://www.kaikaku-shinpuu.com

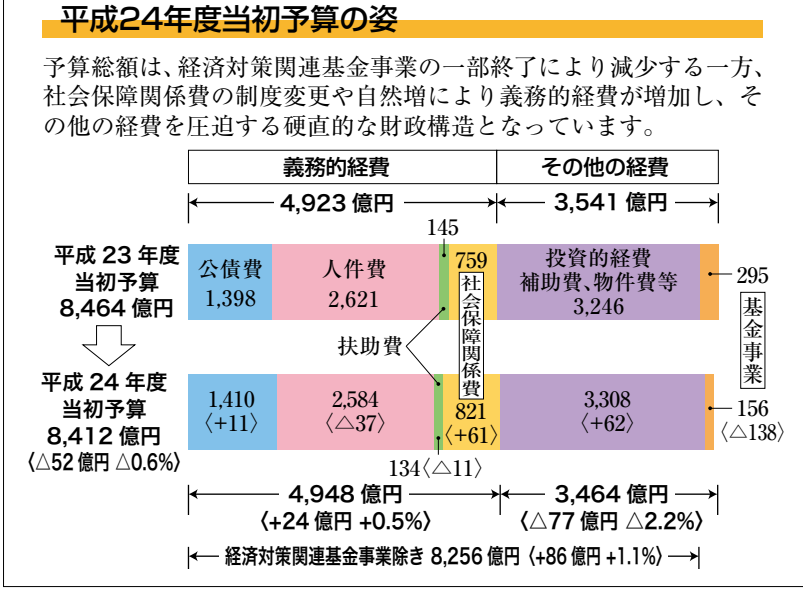
## 二月定例県議会 寺島副代表が代表質問

### 一四年度予算を可決

2月17日に開会した定例県議会は、3月13日の本会議で議案の採決を行い、総額8412億円の2012年度一般会計当初予算案、特別職の職員等の給与に関する条例の一部改正する条例案など、県側提出の計87議案を原案通り可決しました。県債発行額を前年度当初予算額の範囲内に抑制し、財政健全化に努めた予算編成となっています。



一般質問に先立ち、各会派の代表質問が行われ、寺島副代表が質問に立ち、知事に対し、然自若とした県政運営に当たるとの要望を述べた。主な知事への質疑・応答は以下の通り。



### 会派としての事業評価(事業仕分け)試行

去る2月14日、「改革・新風」は独自に県事業を対象にした「事業評価」を長野市で実施しました。当会派に所属する県議が3班に分かれ「信州型事業仕分け」を経験した県民委員らと共に「事業評価人」を務めました。今回対象となったのは次の3事業。各事業に仕分け人から出された意見は次のとおりです。

- ① スノーリゾート信州 構築事業**  
 ・ スキーにこだわらず、個性ある観光地づくりが必要。  
 ・ 個別の事業についても、もう少し工夫すべきだ。  
 ・ 雪を活用したリゾート地としての質的、量的な大改革が必要。  
 ・ アジア大移動の時代という認識に立ち、戦略を組み直すべきだ。
- ② 高齢者・障害者にやさしい住宅改良促進事業**  
 ・ 県下全ての市町村が、この事業に参加すべき。  
 ・ 所得制限のあり方、件数の見込み方の再考を。  
 ・ 市町村、ケアマネージャー、工務店、受益者の声を聞いて再構築を。  
 ・ 本事業の周知、PRをしっかりとすべき。
- ③ 学力実態調査**  
 ・ 全校が参加できる方向で努力すべき。  
 ・ まだまだ改善すべき余地が多く、大いに期待している。  
 ・ 全国であり例のない県独自の事業で担当者の熱意が感じられ効果も上がっていると感ずる。



### がん制圧対策先進地視察

日本人の死因の第一位はがんです。「がん対策推進条例(仮称)」制定に向けてがん治療の最先端医療施設である京都大学病院がんセンターを視察してきました。

京都大学病院がんセンターは、がん治療に係るすべての科がそろっています。がん治療は薬の副作用などで皮膚炎になったり、心臓病が併発するケースがあるので、皮膚科や心臓外科など、がん治療に関わる全ての治療に対応できるようにしています。その他看護師、薬剤師、心理士などによるチーム医療も充実しています。「がん対策推進条例(仮称)」制定の参考としていきます。

急輸送路の重点的整備など、防災、減災対策の強化など、いずれも地域の活力、長野県の強みをさらに発展させていく。

Q 危機管理・防災対策について長野県地域防災計画に「原子力災害対策編」が新設されたが、実行にあたっては、今後どのように市町村と連携、協力していくのか。

A 先般、地域防災計画に新設した「原子力災害対策編」は、本県が取り組む原子力災害対策の第一歩として基本的な方針を示したもので、今後、計画を具体的に推進していくために、県、市町村の役割に応じた具体的な対応に関するマニュアル等の整備を進めていきたい。しかしながら、国の防災対策の見直しにおいて、方向性がまだ不明確な部分があるのか。

Q 本県の財政構造を改革するために、どのような理念を打ち出して、県民の理解を得ていくつもりなのか。

A 質の高い県民サービスを継続して提供するため、持続可能な財政構造の構築。

● 抜本的な見直しによる施策の重点化

● 将来負担の抑制による財政の健全化

● 産業振興について厳しい経済状況の中、将来を見据え、長野県の活力の源である長野県産産業をどのように導いていくのか。

### 県政対話集会

「改革・新風」の県議14名から自己紹介を行い、その後、対話形式で進められ、参加者から多くの地域の課題について質問や要望、意見が出されました。

参加者から「東御市内にはダムが2つある。大地震を受け、ダムの安全性について考えを聞きたい」という質問が出されました。県議側は「県営ダムなので安全性についてはしっかり報告していく」と答えました。その他、消費税、県の産業、県の道路網に対する交通ビジョン、教育、放射能の問題など多岐に渡り質問や要望が出されました。対話集会終了後、参加者からは「とても良い試み。また開いてほしい」との声がありました。対話集会は昨年秋季に塩尻市で開き、本年度は東御市で2回目の開催でした。

A 「健康・医療」「環境エネルギー」「次世代交通」などの成長産業創出戦略を中心にアジア新興国市場も視野に入れた有望市場を開拓や、人材の確保、といった各戦略を一体的に展開し、次世代産業の集積を図る方針。



# 小島康晴の 県政レポート

VOL 20

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX(0265)23-5388



今議会でご退任された村石議長のもと19回目の一般質問

早いもので2期目の議席をいただいてから1年がたちました。平成23年度は、環境商工観光委員長として、大震災や原発事故に起因する、環境問題や経済・雇用対策、観光振興などに取り組みました。24年度は文教企業委員会に所属します。引き続き「県民の生活が第一」を基本に、政務調査活動に誠心誠意取り組みます。お気軽にご意見・ご要望等お寄せくださるようお願いいたします。

2月県議会

誰にも居場所と活躍の仕番のある地域づくり  
夢のある総合計画とそれを支える評価システムの確立を

一般質問

県政報告第20号をお届けします。前回一般質問をお休みしたこともあり、今回は会派で一番多い20分をいただき、誰にも居場所と活躍の仕番があるための方策、信州教育の再生、公約の柱でもある計画行政とそれを支える評価システムについて理事者の姿勢を質しました。

## 「居場所と活躍の仕番」づくり

### マトリックスの作成

【小島】総合計画策定に際し、縦軸に人、横軸に課題等を置いたマトリックスをつくり、縦横の交点をみれば県民が自分に関わる施策(居場所)が分かるような仕組みを提案する。

【阿部知事】個々の施策を分かりやすく示すという指摘について、参考にしようという工夫をしたい。

### 徳島県上勝町の取組

【小島】昨年「葉っぱビジネス」で有名な、徳島県上勝町を視察した。高齢者が収入を得て、家の中にも地域にも居場所がある。農業振興とともに「居場所」づくりの観点から、

からも、本県として知恵を出していけないか?

【農政部長】地域のリーダーの存在、豊かな農村資源への気づきとマーケティングという点でおおいに参考になる。天龍村の「ていざなす」などの成功事例もあり、「人・農地プラン」で元気の農村づくりを進めたい。

### 北海道と九州の農業交流

【小島】北海道栗山町と鹿児島県鹿屋市との農業交流のように、南北に広いわが県でも、相互の交流仕事と居場所をつくりたい。農業交流は、相互の交流仕事と居場所をつくりたい。

### 農政部長 気候や農業形態の違いを活かして、生産力や地域の活力を高める取組は重要であり、優良事例の紹介など市町村

## 中山間地での若者の居場所づくり

### 小島 ある地域の諸団体が資金を出し合って、若者を雇用して農業に従事させ、若者の居場所をつくり、地域を活性化しようとしている。がんばる地域への支援策は?

【総務部長】地域における多彩な取組について、元気づくり支援金を始め、各局や現地機関も連携し積極的に支援したい。

## 信州教育の再生

### 信州教育の評価

【小島】知事として、県民に自信を持って信州教育に子どもを任せてくれと言えないほどの危機感を

## 教育委員会制度

【小島】政治的中立性の確保など現在の制度のどこに課題があるのか?

## 阿部知事、県教委、市町村教委の権限が曖昧で、県民にもわかりにくい面がある。相互の意思疎通を十分行い、一緒に取り組むたい。

【小島】この間の知事の所見への感想も含め、現在の制度に関する基本的な考えは?



事業評価を進行

【教育委員長】知事の考えは理解している。ドラスティックな改革がなじむかは懸念があるが、制度の見直しを議論する時期にきていると考える。

## 計画行政とそれを支える行政評価システム

### 「計画づくり行政」からの脱却

【小島】新たな中期総合計画と同じ5カ年の各部門の計画は統合すべきであり、制度の壁があるなら

## 盛り沢山の委員会審査

私が委員長を務めた環境商工観光委員会では、5日間にわたり多くの論議がされました。

○環境部関係...「1村1自然エネルギープロジェクト」推進のため、市町村等の期待と意欲に応えられる十分な予算確保。東日本大震災の復興支援のため、広域処理の実現に向けた前向きな検討。水資源の保全に関して、市町村等と協調した、実効性のある対策の構築。

○観光部関係...事業規模1億円の「信州四季旅特別キャンペーン」について

## 行政評価制度への考え方

【小島】行政評価の結果は知事が県民に対して責任を負うものではないのか?

【阿部知事】知事が責任を持つて対応するものと考えている。

## 小島 知事会見で行政評

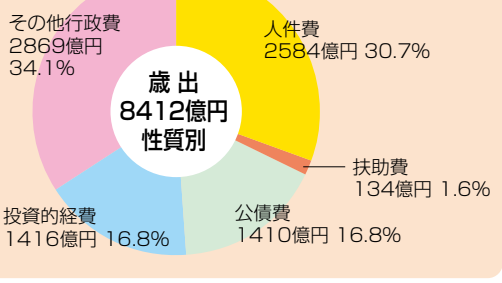
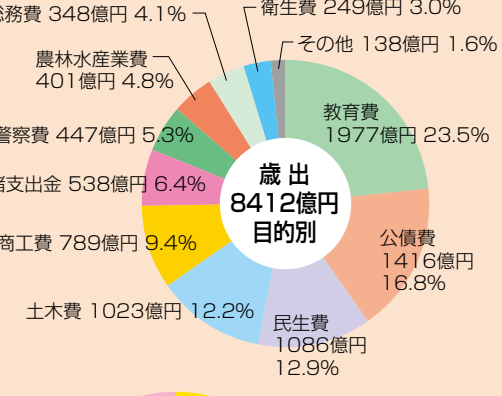
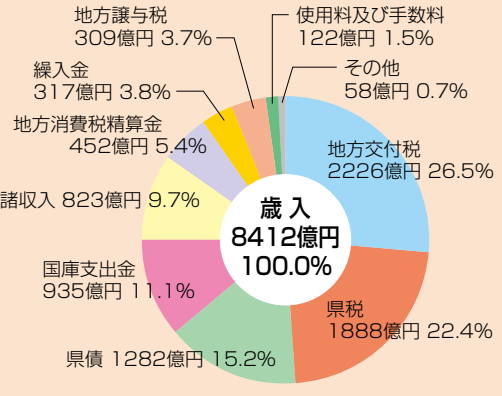
価について「政策判断にあまり役立てていない」としている。私どもは、会派として事務事業評価を行い「事務事業評価シート」で十分議論が可能と確認した。(二面参照)正しい仕組みを正しく動かせば所期の成果が得られるはず。認識を改めるべきである。

【阿部知事】今の仕組みを全面的に使えないとは言っていない。新たな総合計画策定の中で評価や事業点検の仕組みを議会とともに検討したい。



委員長席で環境部長の説明を聞く

## 平成24年度一般会計予算の概要



みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

## 長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP://www.kaikaku-shinpuu.com  
E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com

て、歴史や文化を絡めた効果的なPRの実施。本県の「食」の魅力を活かした誘客促進の取り組み。スキー人口を増やすための教育委員会とも連携した取り組み。「教育旅行受入日本一」に向け、積極的な海外からの誘致活動の取り組み。